

<英文法超基礎⑥⑦> Lv. ★★★★★ 対象: 中1~

① 時を表す前置詞 (at・on・in)

時刻を表すときは (1.), 曜日や特定の日付を表すときは (2.), 年・季節・月を表すときは (3.) を使う。

I get up at seven. 「私は7時に起きる」

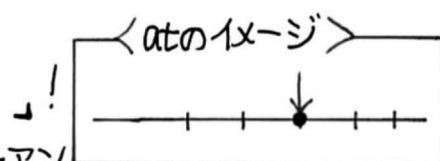
I meet him on March 10. 「私は彼に3月10日に会う」

I meet him in August. 「私は彼に8月に会う」

② at・on・inの使い分け

時を表す at のイメージは「4.

「時計の針」のイメージで、「00時の地点で〜をする」というニュアンスになる! また、(5.): 「6. 」のように時間の幅も表せる!



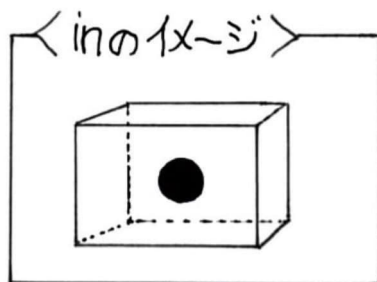
on は何かに「7. 」イメージ!

→ 「on time」は「時間にピッタリとくっついてる」と考えて、「時間ちょうど」→「時間通りに」となる。



in は「8. 」というイメージ!

→ 「in time」は「時間という箱の中」と考えるから、「時間内に」→「間に合って」となる。



Q. 次の場合, in, on, at のどれを使う?

(1) 午前中に → (9.) the morning

→ 「午前」という箱の中に、となり、幅の広い時間帯は (9.) を使う。

(2) 最後に → (10.) the end

→ 「時の流れの最後の地点に」と考え、(10.) を使う。

(3) 6月17日の朝に → (11.) the morning of June 17.

→ 「ある特定の日の朝にくっついてる」と考え、(11.) を使う。

(4) 1時間で宿題を終わらせる → finish my homework (12.) an hour.

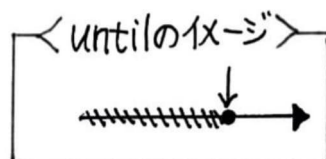
→ 「1時間」という箱の中に、と考え、(12.) を使って、「1時間で」となる。

3 制限された時を表す前置詞

I must stay here **until** tomorrow afternoon.

→ **until** は継続する動作の終了地点を示し、「13.
「私は明日の午後までここに滞在しなければならない」

」と訳す。



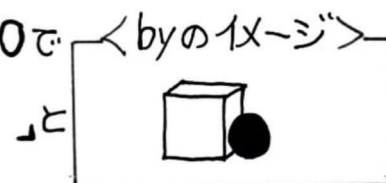
I must leave **by** tomorrow afternoon.

→ **by** は「14. 」という場所を表す。by 6:00で

あれば、6時という1地点の「そば」を表し、「15.

訳す。動作が完了することを表す!

「私は明日の午後までに出発しなければならない」

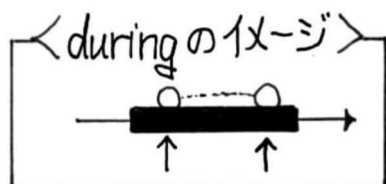


Tom stayed in Japan **during** the summer.

→ **during** は「16. 」を表し、「17.

訳す。「トムは夏の間、日本に滞在した」

」と

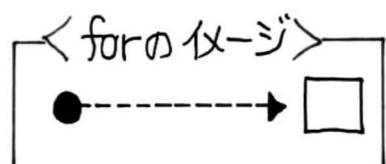


Tom stayed in Japan **for** a month.

→ **for** は「18. 」を表し、時間を出す

場合、「19. 」とセットで「かかった時間」が後に続く。

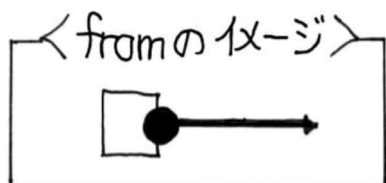
「トムは1ヶ月間日本に滞在した」



The meeting will start **from** 3:00.

→ **from** は「ある場所から離れる」の意味で、動作や状態の
(20.)を表し、「21. 」と訳す。

「その会議は3時から始まる」

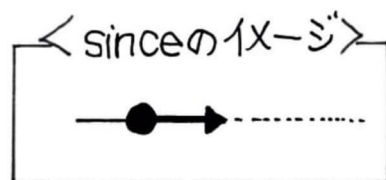


I have been doing this **since** 3:00.

→ **since** は、「22. 」から今に向かうイメージ。

主に現在完了形で使われ、「継続」を表す。「23.

「私は3時から(ずっと)これをしている」



」と訳すとわかりやすい。

※ in と within のちがい

She will be come back **in** an hour. 「彼女は1時間たてば戻ってくる」

She will be come back **within** an hour. 「彼女は1時間以内に戻ってくる」